

⑤ 運動をさらに進めていくにはどうしたらいいの？



推進のための工夫例をご紹介します。

- ☆ 教会員は10人弱ですが、10人分として毎月3,000円を献げています。
- ☆ 礼拝後、「ナルドそば」と銘打って昼食に。収益金を献げています。
- ☆ 毎週、受付にナルドの献金箱を置き、礼拝出席者に協力してもらっています(毎週、週報に献金累計を報告)。教会員のナルド献金袋による献金と合わせて、教会員以外の方にも献金を呼びかけています。これによって、今までは年間10万円だった目標が、12万円を超えるようになりました。



⑥ 献金方法について

- ☆ 地区総会で「ナルド献金袋」「払込用紙」を各会場にお届けしています。お入り用な教会・伝道所はご自由にお持ち帰りください。
- ☆ ナルド献金は払込書を用いて送金する方法だけでなく、自動払込をご利用の教会は、毎月17～18日頃までに教区事務所に金額をお知らせください。他のものと一緒に自動引き落としができます。
- ☆ ゆうちょ銀行から ATM を使って送金することにより、窓口支払いより50円の割引がされます。
- ☆ 毎月でなくても、金額がある程度まとまったら送金する(1回5万円未満までは、同額手数料です)ことも可能です。

上記のように、送金料の節約によってナルド献金に協力することもできます。関東教区宣教部は、ナルド献金推進のために皆さま方と共に、宣教の使命を力強く担いたいと願っています。どうぞ委員の奉仕のためにもお祈りください。また、お気づきのことがありましたら、宣教部委員にお問い合わせください。

日本基督教団関東教区宣教部

〒330-0844 さいたま市大宮区下町3-39

☎048-647-0862 📠048-647-0978

ナルドの壺献金 (推進運動)

Q & A

1日10円献金



ナルドの壺献金はあなたができる献身と連帯の証です

ナルドの壺献金はあなたの献身と連帯の証です

- ① 「ナルドの壺献金」ってなあに？
- ② どうして関東教区でこの運動が起こったの？
- ③ 今、ナルドの壺献金はどう用いられているの？
- ④ わたしたちにできることはなあに？
- ⑤ 運動をさらに進めていくにはどうしたらいいの？
- ⑥ 献金方法について

① 「ナルドの壺献金」ってなあに？



☆ 1日10円を目標に、毎日参加する献金運動です。

関東教区内の信徒・教職が参加し、互助費を生み出すことができます。皆さま、一人ひとりが宣教活動に参加していただける身近な運動です。この運動を推進することによって、おのおのは自覚を呼び覚まされ、各個教会の宣教は強化されていきます。



② どうして関東教区でこの運動が起こったの？

☆ 1975年から教会互助が始められ、教区一般会計より50%、教区内諸教会からの自由献金が50%という目標でスタートしましたが、各個教会からは38%しか集まりませんでした。とはいえ、教会負担金を上げることはできません。

1984年の秋、教区宣教総合協議会(現「教区の宣教を考える集い」)で、教区内の経済的に困難な教会・伝道所のために何かできないだろうか、ということ話し合い、一人の女性信徒による「関東教区の信徒一人ひとりが1日5円ずつ献金する運動を始められたらどうか」との発言がきっかけで、「香油を捧げた女性」(マルコによる福音書14:3～9)にちなみ、献金運動の名称を「ナルドの壺献金」としました。翌春、第36回教区総会で決議され、正式にスタート。2009年度第59回教区総会で、1日5円から10円への変更が決議され、あらたな献金運動の取り組みが始まりました。

③ 今、ナルドの壺献金はどう用いられているの？

☆ 毎年、「ナルドの壺献金」の目標額は、教区総会において決定されます。2017年度も目標額の1,200万円を超えて



12,035,307円が献げられました。皆さまの篤いお祈りと力強いお支えを感謝いたします。皆さまから献げられた献金は、各個教会または教師からの申請により次のように用いられています。

- 1、教会財政が厳しく教師謝儀を差し上げるのに困難な教会・伝道所へ「謝儀互助」を差し上げています。
- 2、病気・入院など教師に緊急事態が発生し、経済的に苦しい事態になった場合、「緊急互助」を差し上げています。
- 3、財政困難なため教団退職年金に加入できない教師へ、教師負担分および教会負担分の2分の1を掛金補助として「教団年金掛金互助」を差し上げています。
- 4、2015年度から「退職金互助」として、年間5万円までの退職積立ができない教会へ差し上げるようになりました。
- 5、皆さま方のナルド献金への篤いお祈りとお支えから、繰越金の剰余分より「ナルド基金」として2,500万円の蓄えができました。心より感謝申し上げます。「ナルド基金」は大規模自然災害等により通常の緊急互助では対応できなくなった場合への備えとして、当面の目標額を3,000万円としています。

1～5のように用いられています。感謝です。今後も宣教の業を共に担ってまいりましょう。



④ わたしたちにできることはななに？

☆ 1人が1日10円！

教区内で、まだ「ナルドの壺献金」運動に参加していない教会・信徒・教職の方、

ぜひご参加ください。お願いいたします。教会に「ナルド担当者」を決めていただき窓口になってくださると、教区宣教の業としての献金運動がより活発になるでしょう。献金袋・ポスター・ナルド献金リーフレット「Q&A」などありますので、ご活用ください。「関東教区宣教部」(裏表紙参照)までお気軽にお問い合わせください。よろしくお願ひいたします。